

▶▶ 沖縄県読谷村

美しいサンゴ礁の海を守りたい



読谷村の海岸は、総延長約14kmにおよぶ自然海岸で、美しいサンゴ礁が生息していますが、近年、海水温の上昇やオニヒトデの食害により、減少傾向にあります。

そこで、サンゴの移植活動を行う村内の事業所と連携し、ふるさと納税で集めた資金を活用して、生

ゴの移植の様子を寄附者のネームプレートと共に撮影し、珊瑚の緯度・経度を記した「海からの感謝状」として寄附者にお送りしています。ふるさと納税を活用して、寄附者の想いを形にしながら、読谷村のサンゴ礁を守るための環境美化活動に取り組める仕組みとなっています。

態系に配慮しながらサンゴの移植事業を実施することとしました。地元のダイバーが行うサン



サンゴ移植ポイント



寄附者のネームプレートを設置し、ダイバーが撮影



注力した点や工夫した点

寄附額に応じて移植できるサンゴの株数の種類を増やせる仕組みとすることで、自らの支援がどの程度貢献できるか、寄附者に分かりやすいようにしました。

Check

取組の効果

「サンゴの移植活動」を寄附者が選択したふるさと納税の額は、年々増加し、それに伴い、移植されたサンゴの株数も増えています。全国の寄附者から集まったふるさと納税により海へと移植されたサンゴは成長するにつれ、生き物が住み始め、新しい命を育てていきます。また、2～3年するとサンゴは産卵します。



サンゴ移植作業中

ふるさと納税で募集することにより、サンゴ礁の保護に取り組む村のPRにもつながっています。



サンゴの産卵

寄附者の声



・少しでも第二の故郷沖縄のお役に立てたら嬉しいです。未来も沖縄の美ら海が輝いていますように。

住民の声



・サンゴの移植を通して、きれいな海が守られることは良いことです。今後もふるさと納税を活用して自然を守ってほしいです。